

条幅部自由参考

4月25日正午必着

明石春浦先生書



鳥啼花遶深 (呂祖謙)

山村の春野の景

菅井松雲先生書



觀魚暫覺心差樂

化蝶元來夢亦忙 (史學)

魚をみて心少しく楽しみ、蝶に化しても元來夢も亦多忙である。觀魚も化蝶も莊子の故事。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

閒中酒、靜裏泉

(王錫)

閒中の酒、靜裏の泉

ひまな時の一杯、静かな境地の泉声。これこそ無上の楽しみである。

莫上^二高樓^一看^中柳色^上
春愁多在^二暮山^一中^一

(趙執信)

高樓に上りて柳色を見る莫れ
春愁多く暮山の中に在り

たかどのに登って柳色をながめない方がよい。春時の憂愁は多くあの夕暮の山にこめられているのだから。

宿^二荊溪館^一呈^二丘義興^一 (嚴維)

荊溪館に宿して、丘義興に呈す 嚴維

失路荊溪上 依仁忽暝投

路を失う 荊溪の上り 仁に依り 忽ち暝投す

長橋今夜月 陽羨古時州

長橋 今夜の月 陽羨 古時の州

野燒明^二山郭^一 寒更出^二縣樓^一

野燒 山郭に明らかに 寒更 県樓より出ず

先生能館^レ我 何事^二五湖游^一

先生 能く我を館せしむ 何ぞ五湖の遊を事とせん

端溪の細かき石の肌^{はだ}に觸^ふれて匂^{にお}ひをあぐる 春の夜の墨^{すみ}

(尾上柴舟)

春の夜の墨、
端溪の石の肌、
匂ひをあぐる。

明石幸子書

半紙部規定課題A

4月25日正午必着

東門有閑地

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書

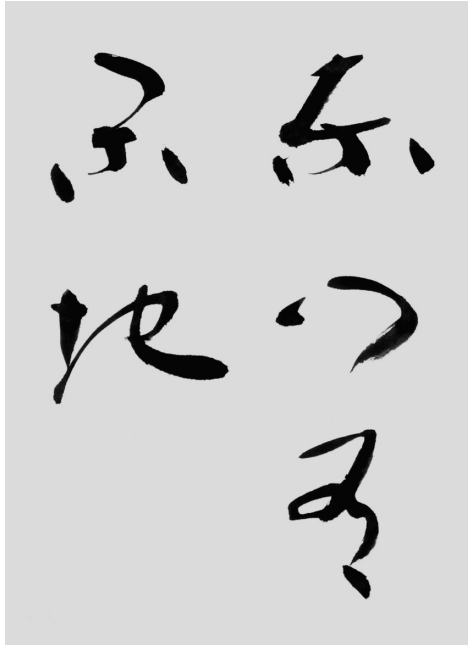


隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



美玉を抱きながら（才能を有しながら）、この京城繁華の地で涙にくれる 故郷の山々は、帰り行く道程があまりに遠い
静けさは禅僧の房に傍うてたどよい 奥深さは庶民の家のよう
林に日は暮れて、鳥たちはねぐらの木を争い 庭に春が訪れ、蝶は花を守護するかのよう
東の城門の所には空き地がある 誰がかの邵平に倣って瓜を種えるだろう

下第寓居崇聖寺 許渾

懷玉泣京華

舊山歸路賒

靜依禪客院

幽學野人家

林晚鳥爭樹

園春蝶護花

東門有閑地

誰種邵平瓜

下第して崇聖寺に寓居す 許渾

玉を懷いて 京華に泣く

旧山 歸路賒かなり

静は禪客の院に依り

幽は野人の家を学ぶ

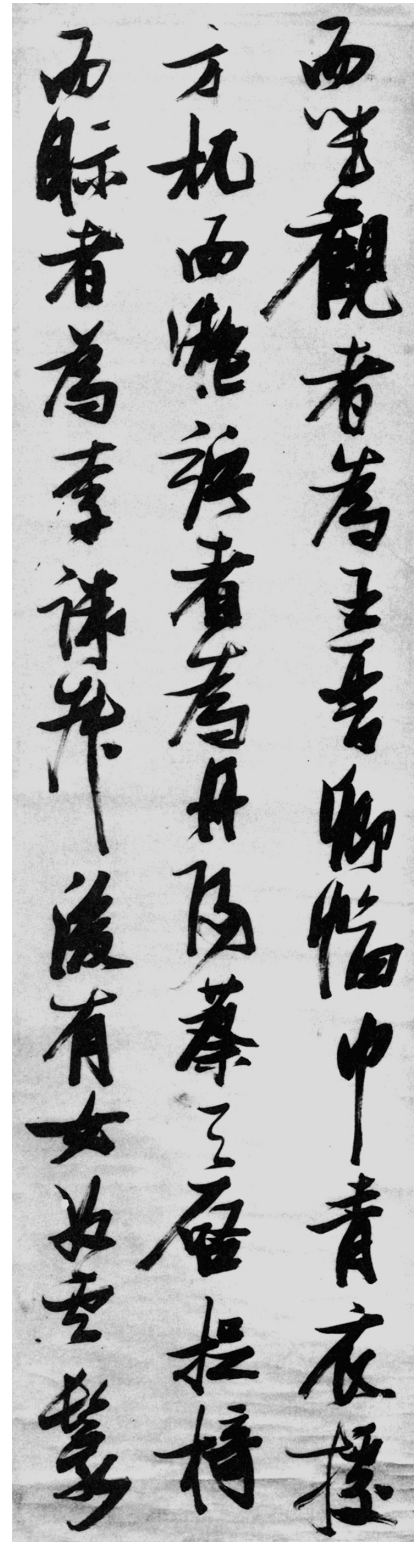
林は晩れて 鳥は樹を争い

園は春にして 蝶は花を護る

東門に閑地有り

誰か邵平の瓜を種えん

4月25日正午必着



(仙桃巾紫裘) 而坐觀者、為主晉卿、幅巾青衣、拋方机而凝峙者、為丹陽蔡天啓、捉椅而脉者、為李端叔、後有女奴、雲鬢
(仙桃巾・紫裘) して観る者を、王晉卿と為す、幅巾・青衣、方机に抛りて凝峙する者を、丹陽の蔡天啓と為す、荷を捉りて脉る者を、李端叔と為す、後に女奴有り、雲鬢

窪田華岳先生臨書

明張瑞図・西園雅集図記



(凝) 峙する者を、丹陽の蔡(天啓と)為す、

張瑞図は南方の福建省の人で字を長公、号は二水、別に果亭山人・平等居士などといった。明の隆慶四年(一五七〇)の生まれで没年は不詳であるが、かれの文集の白毫菴集に生まれた年と七十七才まで生きたことが記されているので、崇禎十二年(一六三九)までは生存していたことがわかる。かれの経歴をみると、三八才で進士に及第し、まもなく翰林院に入り、以後官に仕えた。そして、三十六才頃に礼部尚書という役職を拝命して入閣したが、上司が横暴不正によって処刑されたために、その上司に加担したとして議定処分を受けて官を失った。後世、かれの人物評がよくないのはそのためであるといわれている。したがって、書画をよくし晩明の四大家の一人に数えられながら、一般的にはその書画は珍重されなかった。中国本土で珍重されなかったためか、わが国にもたらされた中国書画の中にかれの書が多く、わが国の書道に影響を及ぼしたといわれている。この西園雅集図記もそのひとつで、東京国立博物館に所蔵されている。金箋紙一二屏、一紙各三行で全五〇三文字の大作である。極端に行間をあけたスタイルで求知的に文字の懷を締め、木の葉が舞い落ちるさまのように鋭く転折を反らせた落葉式と呼ばれる独自の軽妙なタッチで書かれている。

(春濤)

《倣書参考》

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

強者為井陽蔡之啓担椅
而眎者為李諱升

春塘雨過波紋亂
塢風回蝶翅香

春塘しゅんとう雨過あめよきりて波紋はもん亂だれ
花塢かう風回かぜめぐりて蝶翅ようしかんぼし香
(袁宏道)

春の池を雨が通り過ぎて 波紋様が乱れ
花の塢を風がわたって 蝶のはねも香る

4月25日正午必着

教育部毛筆

歌詞

雨宮春聲先生書

か
歌

し
詞

中学一年

紋章

もん
紋

しょう
章

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

しょう
小

せつ
説

小学五年



藤井良泰先生書

じ
自

が
我

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着



か
買

う

小学三年

藤田幸春先生書



こ
国

ど
土

小学四年

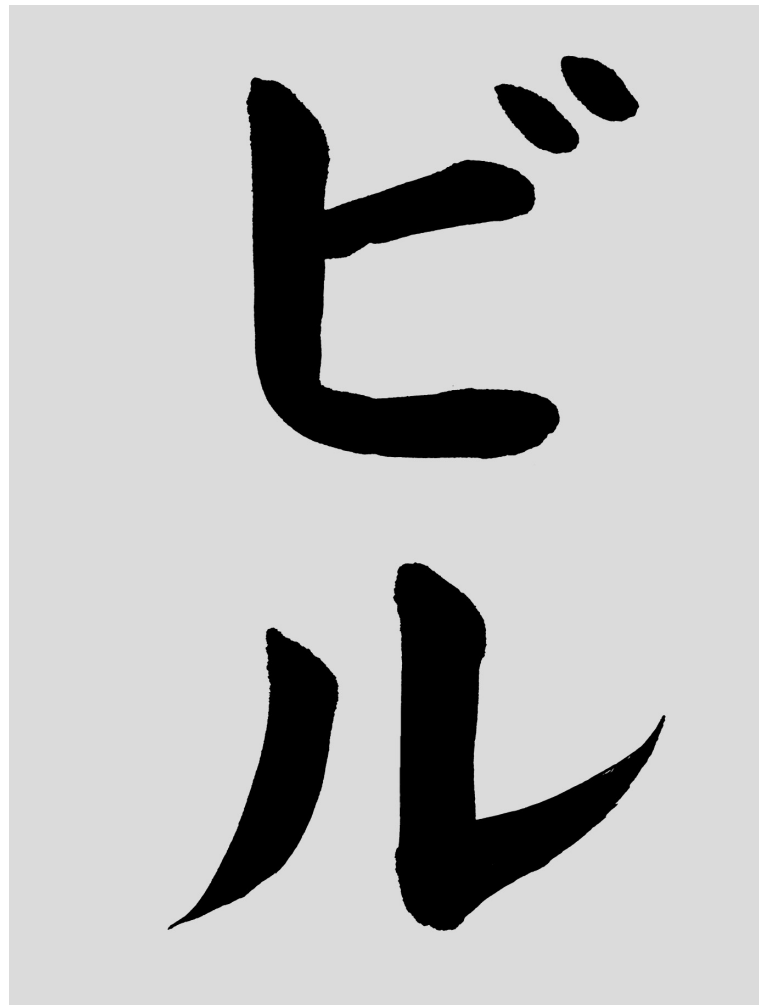
細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

た い 小学一年・幼年



森戸春濤書

ビ ル 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

マングローブの林の中
で生きる動物たち

小学五年

水辺を好むかれんな
白い花が咲いている

小学六年

湯けぶりも月夜の春
となりにはけり一葉

中学

野山は花の香りと若
葉の緑に色どられた

一般(級位)

鶯のなく聲きけはふる里をいでにし春に
またなりにけり

一般(段位)

鶯うぐいすのなくなく聲こゑきけはふる里さとをいでにし春はるにまたなりにけり(熊谷直好)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

か	れ
	ん
き	げ
れ	の
い	
で	は
す	な

幼 年

う	ふ
か	く
	び
あ	き
た	で
っ	ニ
た	と

小学一年

み	七
つ	星
け	て
ま	ん
し	と
た	う
	を

小学二年

て	の
	こ
木	ぎ
を	り
切	を
っ	使
た	っ

小学三年

な	地
記	図
号	に
が	は
あ	い
り	ろ
ま	い
す	ろ

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

いよの、ふらふら
像のまね
いよの、ふらふら
いよの、ふらふら



岩本景楓先生書

三みよしの、象山さきやまの際まの木ぬれこにはこゝだも二さわぐ鳥ハの聲こゝかも（山部赤人）

※木ぬれ：梢